



校長室だより



立ち居振る舞いがかっこいい5・6年生

3月18日(火)6年生が卒業していきました。卒業式には在校生代表として5年生が参加して行いました。卒業生84名は卒業証書をもらう前に舞台上で自分の思いを語り、しっかりと証書を受け取ってくれました。感謝の気持ち、未来への思いをそれぞれが語る事ができました。

なんとといっても6年生の立ち方、歩き方、座り方から感じられる雰囲気、「立ち居振る舞い」方がなんとも頼もしく、かっこよかったです。6年生の素晴らしさを感じさせてもらいましたそして在校生である5年生も長時間座っているしんどさに耐えながら、役割をしっかりと果たしてくれました。この姿にも成長を感じました。

1～4年生でも兄弟関係がある児童には出席したかった人もいたと思いますが、遠慮してもらいました。ありがとうございました。家でしっかり祝ってあげたことと思います。

生活リズムを作ることに力を入れていきます

今年度を振り返ると「遅刻をしてくる子ども」が多くいて気になりました。体調がすぐれない面もあると思いますが、朝、起きることができなかつたり、登校をしづなったり、という理由がほとんどでした。家の事情もあるかもしれませんが、「生活リズム」がうまく作れていない子どもが目立ちました。遅刻が多かつたり、生活リズムが乱れたりしている子どもはどうしても学力の面で心配がでてきます。1日1時間遅刻したとして年間197日だと197時間の授業を受けていないことになります。1日6時間あるとすると30日以上を無駄にしていることになります。まさにマイナスの積み重ねになってしまいます。また、他にも遅刻が多い子どもの心配な面は、「自分の意見をしっかりと言えない」「善悪の判断ができにくい」「友達関係がうまくいかない」などがあげられます。

生活リズムができていない子どものもう一つの特徴としてデジタル・ゲーム依存があげられます。スマホやゲームなどのやりすぎによって、体や脳の健康に支障をきたしているように思っています。

そこで次の提案をします。

<提案>

学校を遅刻または欠席した児童は、

その日はスマホやゲームなどのデジタル機器を使わない

この制限は「罰」としてスマホやゲーム機を取り上げるわけではありません。子どもたちの体や心の健康を取り戻すためにしてほしい提案です。刺激が強いものを避け、刺激がない生活をおくることが心と体の健康にとって良いと考えています。

スマホやゲーム機などのデジタル機器を使えなくなった子どもたちはおそらく暇を持て余すと思います。以前にも書かせてもらったように、その「暇」こそが必要だと思っています。暇になった時間をお家の方とコミュニケーションをとる時間にしてもらったらうれしいです。トランプをしたり、ボードゲームをしたり、本を読んだりする時間になったら良いなと思っています。

小学校などの児童期において、いかに生活リズムを整えていくのか、がとても大切だと学校では考えています。そして子どもの生活リズムを作るのは私たち大人の責任です。ご家庭の力に支えられて子どもたちも学校も成り立っています。よろしくお願いします。また、来年度以降に学校として何ができるか考えて、生活リズムを整えるために取り組みを進めていきたいと考えています。